



# 米国株 MARKET PICK UP



## 先週の米国株式市場—S&P500 は史上初めて 2,000 ポイントの大台突破—

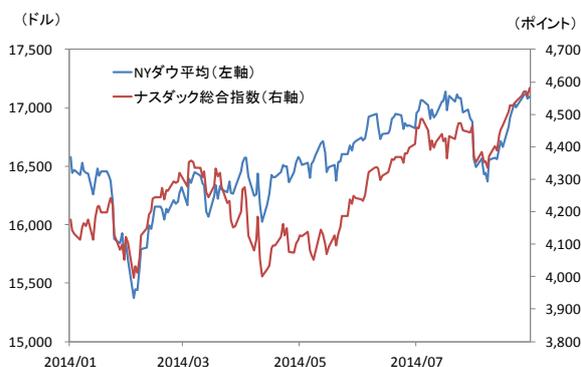
	前週終値	8月25日	8月26日	8月27日	8月28日	8月29日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	17,001.22	17,076.87	17,106.70	17,122.01	17,079.57	17,098.45	+97.23	+0.57%
騰落幅		+75.65	+29.83	+15.31	-42.44	+18.88		
S&P500	1,988.40	1,997.92	2,000.02	2,000.12	1,996.74	2,003.37	+14.97	+0.75%
騰落幅		+9.52	+2.10	+0.10	-3.38	+6.63		
ナスダック総合指数	4,538.55	4,557.35	4,570.64	4,569.62	4,557.69	4,580.27	+41.72	+0.92%
騰落幅		+18.80	+13.29	-1.02	-11.93	+22.58		

### <先週の概況>

先週の米国株式市場は上昇しました。カンファレンス・ボード消費者信頼感指数や4-6月期のGDP改定値など、発表された経済指標の多くが市場予想を上回る好内容だったことが好感されました。

S&P500は史上初めて終値で2,000ポイントに到達、ナスダック総合指数も年初来高値を更新しました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



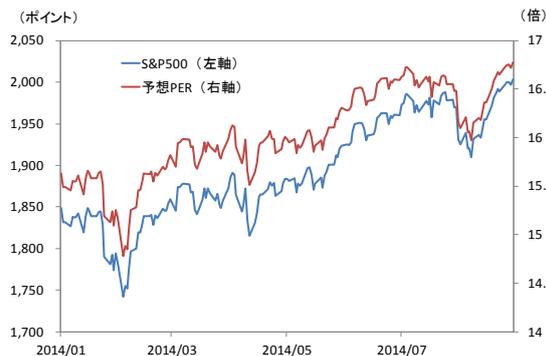
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## 米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	15.1	2.9	2.3%
S&P500	16.8	2.7	2.0%
ナスダック総合指数	22.3	3.5	1.1%

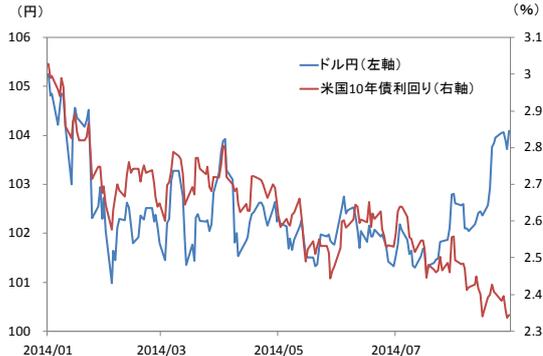
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2014年8月29日時点)

S&P500と予想PERの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

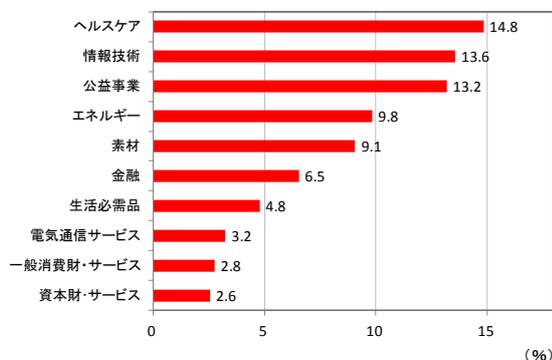
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

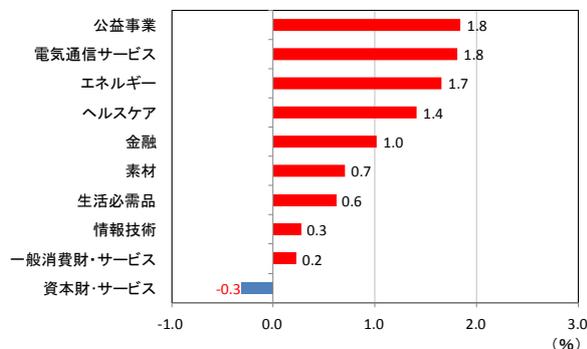
## 業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング(8/25-8/29)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
UNH	ユニテッドヘルス・グループ	3.5
HD	ホーム・デポ	2.7
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	2.4
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	2.1
CVX	シェブロン	1.8
JPM	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	1.6
CAT	キャタピラー	1.6
PFE	ファイザー	1.6
MRK	メルク	1.6
KO	ザ コカ・コーラカンパニー	1.5

(出所) マネックス証券作成

値下がり率ランキング(8/25-8/29)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
V	Visa	-1.7
UTX	ユニテッド・テクノロジーズ	-1.3
NKE	ナイキ	-0.9
MCD	マクドナルド	-0.8
DIS	ウォルト・ディズニー	-0.7
GE	ゼネラル・エレクトリック	-0.7
BA	ボーイング	-0.5
PG	プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	-0.3
WMT	ウォルマート・ストアーズ	-0.3
MMM	3M	-0.1

(出所) マネックス証券作成

### <上昇>

ダウ平均採用銘柄は 30 銘柄中 19 銘柄が上昇、11 銘柄が下落しました。サイバー攻撃を受けたと発表した JP モルガン (JPM) ですが、株価は上昇しました。

### <下落>

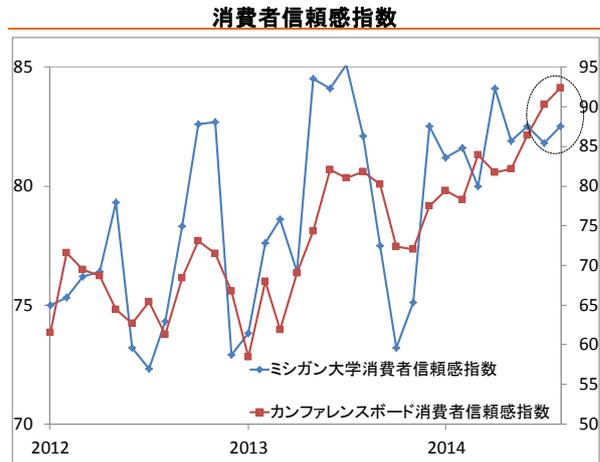
証券会社により投資判断の引き下げが行われたビザ (V) は週間で 2%近い下落となりました。また、ロシアでの一部店舗の閉鎖が報じられたマクドナルド (MCD) も小幅に下落しました。

先週発表された主な経済指標

カンファレンス・ボード消費者信頼感指数 8月 92.4 市場予想 89.0 前月 90.9

26日に発表されたカンファレンス・ボード消費者信頼感指数は92.4と前月(90.9)からの悪化を予想していた市場予想を大幅に上回って、前月から改善しました。

先に発表されたミシガン大学消費者信頼感指数の速報値が悪化していたために、カンファレンス・ボードも悪化が懸念されていましたが、結果的にミシガン大学消費者信頼感指数も確報値で大きく上方修正されており、個人消費の先行指標である消費者センチメントは堅調に推移していることが確認されました。



(出所)マネックス証券作成

今後発表される主な経済指標

9月2日 ISM 製造業景況感指数 8月 市場予想 57.0 前月 57.1

9月5日 非農業部門雇用者数(前月差) 8月 市場予想 +22.5万人 前月 +20.9万人

今週は重要な経済指標の発表が目白押しです。まず2日にISM 製造業景況感指数が発表されます。先行指標である各地区連銀の発表する製造業指数やシカゴ購買部協会景気指数が堅調な内容だったことから、ISM 製造業指数も好内容が期待されます。

5日には雇用統計が発表されます。非農業部門雇用者数は労働市場の堅調な改善の目安とされる前月差20万人増を上回る22万5000人増が予想されています。



(出所)マネックス証券作成

マーケットビュー—今週は雇用統計など重要指標の発表目白押し—

先週のマーケットビューではダウ平均が1万7000ドルの節目を突破したことから、ここからは高値警戒感が台頭し、上昇ペースは落ち着くのではないかと述べました。結果的にS&P500は2,000ポイントの大台を達成し、史上最高値を更新しましたが、ダウ平均は最高値更新には至りませんでした。

今週は重要な経済指標が発表されます。米国では経済指標欄で触れたようにISM製造業景況感指数や雇用統計が発表されますし、欧州では4日にECB理事会が行われ、追加金融緩和の決定が予想されています。米国の経済指標は良好な内容が予測されており、株式市場は好感して一段高となることがメインシナリオと考えられますが、雇用統計で予想以上に労働市場の回復が早まっていることが確認されれば利上げの早期化観測に繋がる可能性があり、その場合のマーケットの反応には注意が必要でしょう。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

**利益相反に関する開示事項**

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、  
 一般社団法人 日本投資顧問業協会